

# 事務事業チェックシート

事務事業No 166 事業名 福祉交流館管理運営事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		社会福祉費	
	目		福祉交流館費	
	大事業		福祉交流館事業	
事項		福祉交流館管理運営事業		

[長期総合計画]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	1	地域福祉の推進
基本方針	2	福祉を推進する体制の充実

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	高齢者・地域福祉課	佐々木 忍	435-1063
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

## 1 事業概要及び実施内容

	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
事業概要	市民の福祉の増進、文化教養の向上を図るため、福祉交流館の管理運営を行う。	福祉交流館の管理・運営を和歌山市社会福祉協議会に指定管理する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		福祉交流館の管理・運営を和歌山市社会福祉協議会に指定管理する。	福祉交流館の管理・運営を和歌山市社会福祉協議会に指定管理する。	福祉交流館の管理・運営を和歌山市社会福祉協議会に指定管理する。	福祉交流館の管理・運営を和歌山市社会福祉協議会に指定管理する。	福祉交流館の管理・運営を和歌山市社会福祉協議会に指定管理する。

## 2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費等 千円	事業費	29,113	28,627	30,532	30,531	30,576	30,935	33,036		33,036		
	伸び率 (%)	-	-	4.9%		0.1%		8.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	1,302	1,307	1,302	1,306	1,101	1,127	1,302			
		非常勤職員							0			
		小計	1,302	1,307	1,302	1,306	1,101	1,127	1,302			
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他		21,302	1,498		1,498		1,498		1,498		
	一般財源(税等)		7,325	29,034		29,034		29,034		29,034		
所要人数	常勤職員	0.17	0.17	0.17	0.17	0.15	0.15	0.17				
	非常勤職員											
主な予算内訳		委託料 30,149										

## 3 目標及び実績

	指標名及び達成状況	単位	全体目標値	全体目標達成度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
					年度目標値	実績値	年度別達成度	年度目標値	実績値
活動指標	利用団体数(延べ)	年度目標値			3,300	3,400	3,400		
		実績値			3,343	3,393	3,354		
	年度別達成度			101.3%	101.4%	98.6%			
	単位	団体	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値	実績値	年度別達成度		
成果指標	利用団体数(延べ)	年度目標値			3,300	3,400	3,400		
		実績値			3,343	3,393	3,354		
	年度別達成度			101.3%	101.4%	98.6%			
	単位	団体	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値	実績値	年度別達成度		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	指定管理者の和歌山市社会福祉協議会は、適正に管理・運営している。
「見直し」 「改善」案	一部の団体が独占している傾向があるため、利用回数の制限を検討する。